

令和3年度 編入学（一般）

## 看護学部

### 看護学 (120分)

#### 注意事項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 この冊子は、4ページあります。なお、下書き用紙が1枚あります。
- 3 試験中に問題冊子及び解答用紙の印刷不鮮明、ページの脱落などがあった場合は、手を挙げて試験監督者に知らせなさい。
- 4 解答は、必ず黒鉛筆（シャープペンシルも可）で記入し、ボールペンや万年筆などを使用してはいけません。
- 5 解答用紙には、氏名及び受験票と同じ受験番号を忘れずに記入しなさい。
- 6 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
- 7 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

1 細胞小器官のゴルジ体について説明しなさい。(10点)

2 次の文章は薬物と食物の相互作用について述べたものである。文章中の①～⑤に該当する語句を書きなさい。(15点)

- ・ワルファリンカリウムは( ① )を多く含む納豆やクロレラなどの大量摂取により、薬効が減弱する。
- ・Ca拮抗薬や抗てんかん薬(カルバマゼピン)は( ② )の摂取により代謝が阻害され、薬物の血中濃度が上昇する。
- ・ニトログリセリンはアルコールの摂取によって、( ③ )などの症状が起こる危険性がある。
- ・テトラサイクリン系薬は( ④ )などの摂取により吸収が妨げられる。
- ・MAO阻害薬や抗結核薬などの薬剤は( ⑤ )などに大量に含まれているチラミンの分解を妨害するため、チラミン中毒(顔面紅潮、頭痛、急激な血圧上昇など)が発現する可能性がある。

3 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(30点)

Aさんは40歳の女性で、会社員、一人暮らしである。胃がんのため胃全摘出術を受けた。術後順調に経過し、術後3日目より流動食が開始となった。

問1 術後5日目の食事の後に、めまい、顔面紅潮、動悸、下腹部痛を伴う下痢が出現し、冷汗がみられるようになった。この状態を何と言うか述べなさい。

問2 術後7日目、毎食後に下腹部痛を伴う下痢があり、Aさんは「食事をするのが怖い」と訴えた。Aさんの訴えをアセスメントするために、確認する情報をあげなさい。

問3 術後8日目で、退院が決定した。下痢の回数が減り、摂食も良好である。Aさんへの退院後の食事指導について具体的に述べなさい。

4 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(20点)

Bさんは37歳男性の会社員で、アパートに一人暮らしをしており、食事は外食が多い。職場や市民野球クラブの付き合いなどで、週に2~3回は飲み会があり、焼肉でビール大瓶3本を飲むことが定例になっている。タバコは3日に2箱程度吸う。職場の健康診断では、身長170cm、体重80kg、腹囲92cm、血圧132/80mmHg、空腹時血糖106mg/dl、HbA1c5.9%、HDL-コレステロール46mg/dl、LDL-コレステロール180mg/dl、中性脂肪150mg/dlであった。

問1 体格指数(BMI)の計算式を記述し、BさんのBMIを四捨五入して小数第1位まで求めなさい。

問2 Bさんの健康状態をアセスメントして、健康管理に必要な生活指導を簡潔に述べなさい。

5 次の文章は人口の高齢化に関連した指標について説明したものである。文章中の①~⑤に入る適切な語句や数値を記入しなさい。(15点)

高齢化率とは、総人口に占める(①)歳以上の人口の割合をいい、高齢化率(②)%以上を高齡化社会、(③)%以上を高齡社会、(④)%以上を超高齡社会という。現在、我が国は(⑤)社会に突入しており、高齡者のいる世帯は、全世帯の約5割にのぼる。

6 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(30点)

Cさんは70歳の男性で、68歳の妻と二人暮らしである。脳梗塞の治療とリハビリテーションのため入院していたが、自宅へ退院することになった。現在は、軽度の右片麻痺があり杖を使用している。入浴以外のADLは自立しており、看護師の見守りで入浴している。食事は時々むせるが、自分でスプーンを使用して食べている。自宅退院が決まった日の夜、Cさんから「妻と2人でやっていけるか心配だ」という言葉が聞かれた。要介護認定を申請し、要介護2の認定を受けている。

問1 介護保険で利用できる、Cさんの状態に必要なサービスを4つ書きなさい。

問2 病棟看護師の立場でCさんや妻に対し、どのような退院指導をするか、①関わり方の姿勢、②薬物療法に伴う注意、③介護上の留意点について、具体的に2つずつ書きなさい。

**7** 次の事例を読み、あとの問いに答えなさい。(30点)

Dさんは22歳の男性である。高校卒業後は就職せずに自宅で過ごしていた。20歳の時に幻覚妄想、不穏状態が発現し、統合失調症と診断されて治療を開始していたが、服薬が不規則で入退院を繰り返していた。3か月前に不穏状態となり、母親に連れられ精神科を受診、入院を勧められたがDさんは拒否、母親が入院に同意したため、入院となった。入院してまもなくウェクスラー成人知能検査を行ったところ、知能指数70であった。入院後は、様々な非定型抗精神病薬が選択され治療を行っていたが、急性ジストニアなどの副作用が生じ、病状の改善も見られなかった。そのため、医師から本人と家族にクロザピンの服用が勧められ、投薬が開始されることになった。

問1 Dさんの入院形態を記述しなさい。

問2 クロザピンの服薬が開始される前に医師からDさんに薬の作用や注意点について説明がされたが、その後Dさんは看護師に薬の作用や副作用について不安を訴えている。Dさんのこれまでの経過や背景を踏まえた上で看護師の適切な対応を記述しなさい。

問3 クロザピンの服薬開始から2か月が経過し、重大な副作用が生じることなく、Dさんの精神症状は軽減された。Dさんは「症状もなくなったので、早く退院したい。」と話している。クロザピン服薬中の注意点を踏まえた上で看護師のDさんに対する適切な対応を記述しなさい。

**8** 母性看護学に関連する次の言葉を具体的に説明しなさい。(30点)

1) リプロダクティブヘルス (Reproductive health)

2) マタニティブルー (Maternity blue)

3) カンガルーケア (Kangaroo care)

9 次の文章は子どもの呼吸の特徴について述べたものである。文章中の①～⑩に入る適切な語句を下記の選択肢の中から選びなさい（重複選択可）。（20点）

子どもの胸郭の形は成人と異なり、新生児期ではほぼ（ ① ）で、2歳ごろから横径が急速に発育する。乳児の肋骨は未発達で（ ② ）も軟らかいため、呼吸で胸腔内が陰圧になると（ ③ ）が胸郭内に引き込まれる（ ④ ）呼吸となりやすい。

呼吸は（ ⑤ ）や（ ⑥ ）などの呼吸筋の動きと、それに伴う胸腔内の圧力の変化によって行われるが、新生児・乳児の呼吸筋は未発達なため、主に（ ⑦ ）を用いた（ ⑧ ）式呼吸である。呼吸筋は歩く・走る・泣くといった日常生活の営みの中で発達し、幼児期には（ ⑨ ）式呼吸に、学童期には（ ⑩ ）式呼吸へと発達する。

【選択肢】

ア 肋軟骨	イ 肋間筋	ウ 楕円形	エ 円錐形	オ 肝臓	カ 胃
キ 膵臓	ク 肩	ケ 鼻翼	コ 陥没	サ 気管軟骨	シ 横隔膜
ス 胸	セ 腹	ソ 胸腹	タ 剣状突起	チ 肩甲骨	